

44

118

212

板 濱 出 横

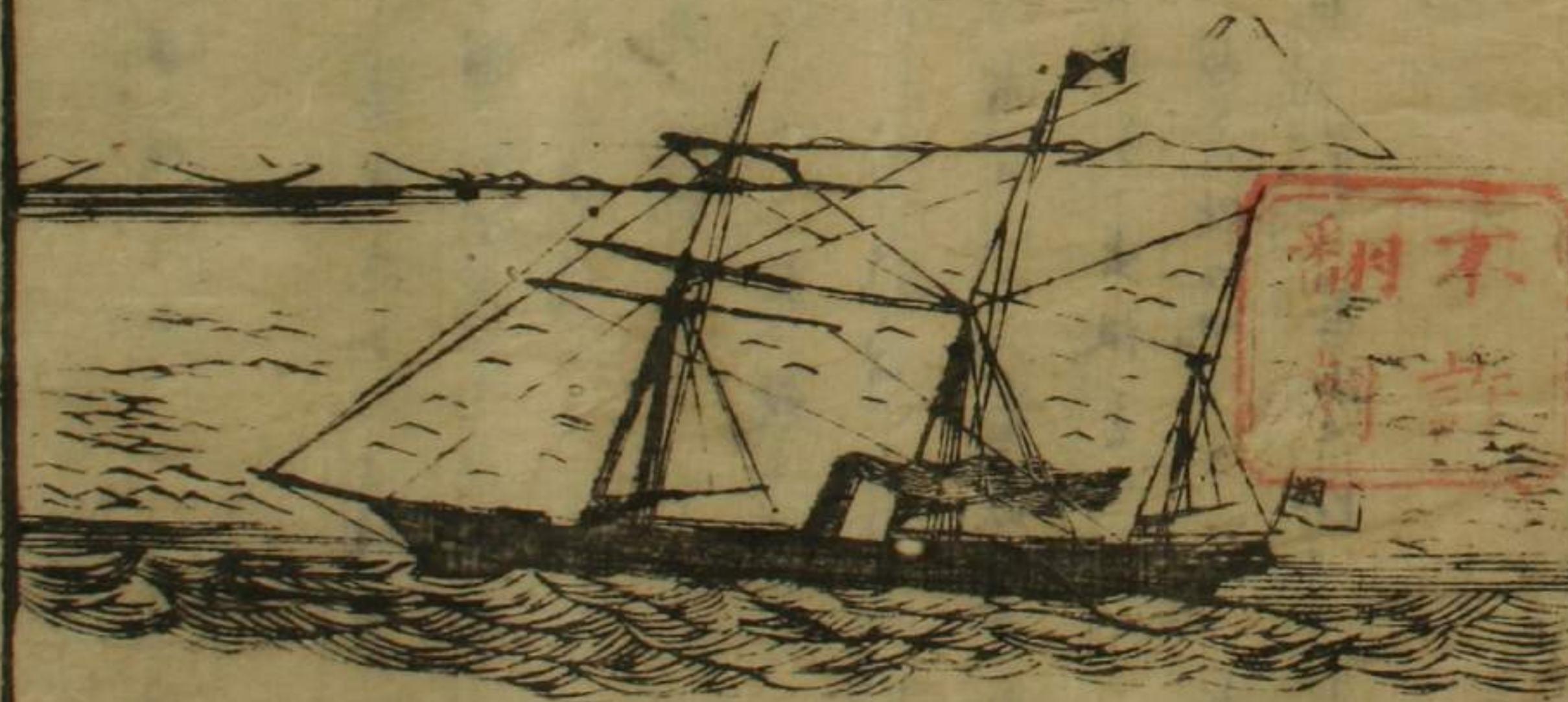
萬 國 新 聞 紙

每 得 新 聞

英國教師ベリー編

文慶作

第六集



年七百六十八

慶應三年八月中旬

凡例

○此の萬國新聞紙ハ日本の諸君ニ萬國の事情を知る爲め作
サツカセウ

○日本日々強大に開け進む事速くにて當今志士の諸君の萬國
通商字問もて自由うれしハ實ニ子等の大業なり。今之時あり
諸君萬國の事情を通達するに尤甚べ急務うつ

○毎月二三度毛脚船新聞と時來

直ニ本校

○此新聞紙、諸人の報告と集めて作る事無く疑うてありて
實虚分明うる。然れど此新聞紙も一ヶ月遅うべ

○諸君若く旅說奇談上聞ふ横濱本村通百六十八番或ハ本町通五十
番にて告げらる。然れど此新聞紙も一ヶ月遅うべ

○卷の終、横濱新聞と號せ出でゆべ此つ也。新聞
て文中に問と設くことあらず。諸君若く一毫答へず、百番独
宅にて投却せらる。

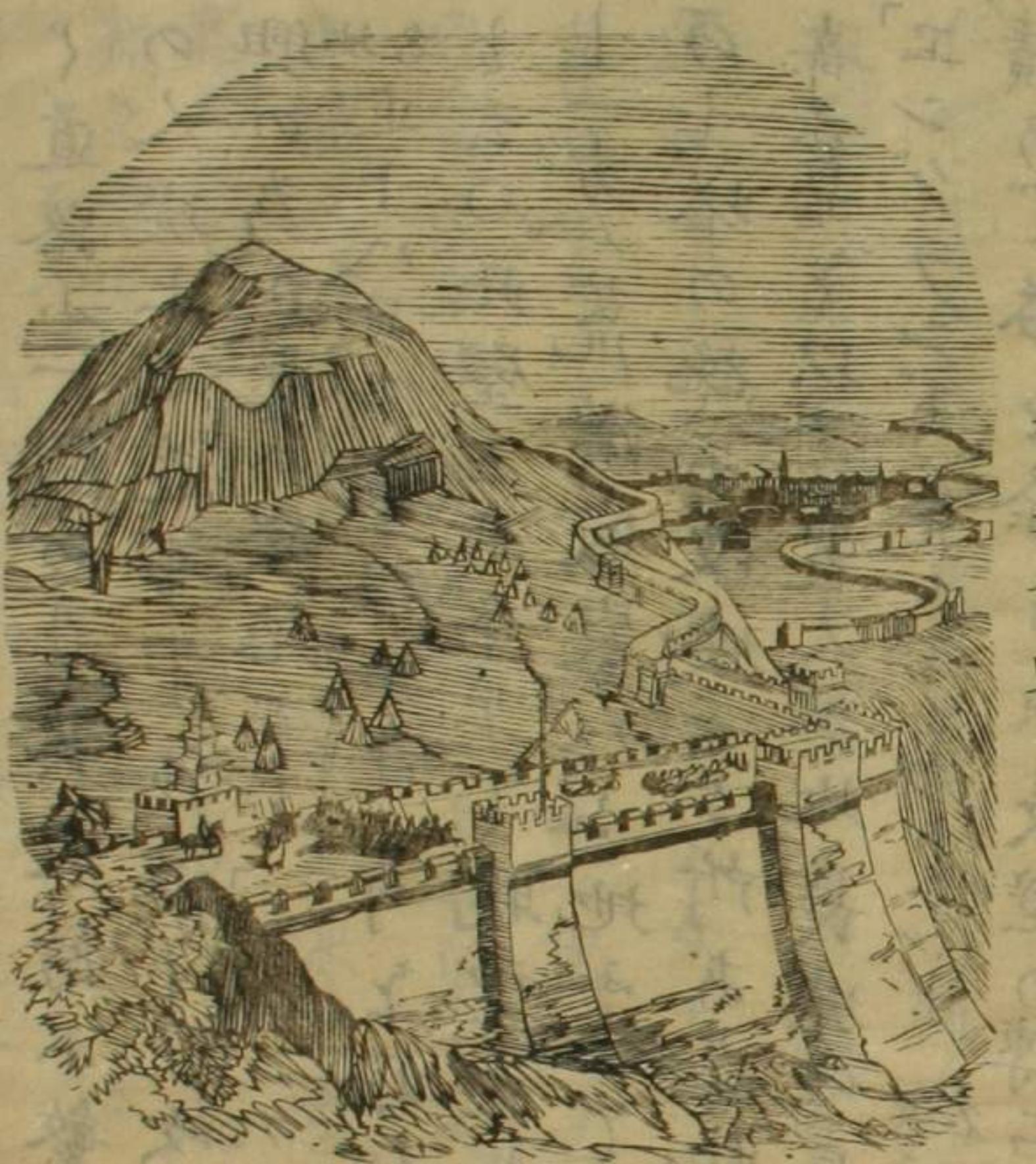
大英國史

第三編 紀元三百五十年ヨリ五百九十年迄

大規文庫

此間英國ハ羅馬の政事にて全ク靜謐ふじまし其故ハ強勇あくスコットランド
人時隙を窺ふて北境を侵襲もれハあり然ニ羅馬人ノルウェーナイルズ名ヨリ
外に地にての間長城と築き防禦せる。以て英國より来る能ひ。其後羅
馬人テ。一二、フランス、イタリー、及ヒ歐羅巴の東北より来る所の戎蛮は襲ひ國勢
大衰弱し羅馬の強盛ある大都府ヤソードも一箇の力少てハ彼等の強劇ある
勢ニ敵一難きが故ニ自國の兵と英國ニ免せ一も能ひ。四百年の頃羅馬
帝島の各地首府ニ今よりハ汝等自ら主とあり自ら国を守衛を負一や
告たり然しやリ英人皆合和するを得バ此の如く為を免れども彼是
互に穢あらば争鬭する。以て是と合せん為ニ嚴酷は罰せり。爰ニ今ヒクト
スユクト少く稱す。北部の人民羅馬人の築造せる長城と破壊して夥しく
英國ニ乱入きて是と以て英人皆合ひて自國を防守を廢きよ却て救援を
他國よ乞ふ此兵ハ即ちサクソニといふものにて「バルティク」海の海濱或る
「エルブ」河の河口より近き、田ニ住む彼強猛ある。ヒクト「スユクト」の勢ニ比敵を負し
○サクソニハ常ニ英國の東南ニ到リ貨物牛羊を奪取一盡ク船ニ載せて去ル

然のうち、一派勢ある者ハ奴隸又賣リ或ヘ是セ殺キ。英人ハサクシニ怨親と通ト彼よ致ー若ー「ピクトスコット」と追拂(モ)サチッ島と住居ふ典へ且許多の金と典へ人や約束セリ此よ於てサクシハ此事と就きんとも然サ甲子ット」の小島のこふてハ足りりやせむ更ニ全英國と得人やの意と起セり後よ及人て数年の間ビクトスコットを戦ヒー如く屡々猛烈よ英人ぞ戰争セリ而一て遂ニ英人と服従セーメたり英人の頭長ムアルソウシヤイヘる高名より人向リ因の為ニ驚駭を召キ勧と為セリ此人とつゝもサクシを逐散うすて難うリ。此人死一て彼より此業を續くものか。五百九十年代ヨ「サクシ」ハ「フィルズ、ラグ、オールド」地よりギクス海峡まで「セウエルニ」地より北海まで盡く領セリ英人ハ終ニ西方よ自領を保チ「コールニウォーン」地の岩石の間或ハ「ウェーラス」地及び「コムベルト」の山ニ傍て兵難セキ。此英人等久しく別境の人やありて殘れり又隙と窺ハテサクシと攻擊を方今ニ「ウェーラス」の土人多くハ往古の英語と用ゆ「コールニウォーン」の人も数百年の間如此す。尚其他ヨ英人縣一ノラニムヨ逃れ其國の西南ニ住キ。今ヨ到て此地の土人を「アート」カト名づくセ。



支那の長城

支那の長城ハ世界七奇の一つにて其名甚高。實ふ天下の奇觀と云。此城外面ハ多くハ磚石等を疊みて築造。内部ハ土を以て充塞。其處々小方形の塔を造り要害の地ニハ堅固の塞を備。二重或ハ三重と。其長約五百里日本ノ
里法。シヤンシ郡界より黄河の濱百五十里
數ニ城の高サニ大壁上ハ六騎を列行す。塔ハ低きものより四丈下より其趾方一丈五尺又壁中ふ弓形の穴道及び許多の小門あり。上より圖ふ當せむ如き凸凹ある胸壁あり。西方の極小到れハ只土を以て築ける。此處多くハ高峻嶙峋の山を以て更小堅固を要せざれ。又東方ハ筑るやうの地あり然れども嶮山大河等ありて自ら堅固あり。此驚歎も盛キ土功を僅五年の

間小一て成熟モ全領中の人民三分の一を驅役セリと印度小趣
く道路小一門あり其近傍小繁華の市街あり「シニンフ」支那地名
の人堤上を遊歩一沙漠より吹来之清風小當リて爽快を取ス遊
興の為ふ屢ハ登臨地名「シニンフ」支那地名沙漢の近傍小有「スシーン」
名近十八日之旅程より奇を好む人ハ屢々食料を備へ行て一観スと云。此壁上小登りて眺望まれハ一方ハ田疇共ト闢け人民蟻集
一方ハ荒漢寂寥たゞ地小一絶て人跡少く只野獸の住ス者
の塔の縋ス破壊す所あり此地小ハ蔓草繁生モ。或人一
奇算を以て衆人小此長城の長く且大カを知ラム其説「
エニグランド」英スコットランド共地名人家小用材木磚石等を
積めど塔を除キ只長壁の磚石の小一て是等小比敵せん此塔
「ロンドン」中小用ひ材木磚石よりハ猶多一若一此
長城の土石を以て高サ六尺厚サ二尺の壁とせハ此大地球を二周を
廻ニ千餘年の星霜を経スといとも依然として昔時之如
「イジブト」の「ビラニッド」ハ大ふを以て世界小稱せられ支那の長城
ハ長きを以て世界小稱せら」といテ

三

次之新聞ハイギリス飛脚船の持來スもの小一て西洋第七
月十七日日本六月十六日までの新聞あり又傳信機みて得ナス新聞ハ
同月三十一日日本七月朔日までのものあり

イギリス國

太子の妃病氣全快セリ〇「トルコ」王其屬國「エジプト」王と共に
イギリスヨルカ來ス是莫小因てイギリスス馳走の為ス女王及
太子列座の上五十艘の蒸氣軍艦を「イギリス」海峽ス於て調練
運動せしめたり兩王共小女王及「イギリス」人民の饗應スを大
喜悅セリ「トルコ」王より一万兩「エジプト」王より四千兩の金を「ロンドン」
の貧民小典スたり〇「イギリス」人萬國小て日本大工等の為ス如
き職人仲間といへる事を嫌ひ惡む「イギリス」の「シェツフェルド」とい
盛大小製造所あり市街ス此事行ス殊スソーグラインデル
鋸ス磨ス甚ス其頭を「プロードヘット」と云ふ實ス大罪ス此
者ふあり「シェツフェルド」の人甚スた之を惡くめり十年以來密ス

ふ此事を行ふて窘めたり因て政府より重立たる人と遣り其頭を探索せしむ惡漢二三人あり國法を破り數人を殺害一又ハ傷つけ恐る爲き仕業の風聞あり是ハ貪人仲間の法の如くせざる故ふ此事ふ及ふ此重役の者諸人の此事ふ付き歎き訴ふ所を吟味一且罪人も自ら白狀ふ及ば罪ふ及ば拘權を持せり爰み我國人の此の事件を為しハ實ふ悲歎ふ堪へ此事を載せざり亦不可あり然もども是並以て我國の人民を概論す處に各國皆然り三年前ふ鎌倉ふ於て英人を殺せし日本人を以て日本人を盡く此の如一といふ事もさう如一○太西洋の傳信機の益あつと實ふ驚く也○西洋第立月二十六日ふ横濱を帆セヨ「コロラド」船名の「アメリカ」へ着岸セヨ「ロンドン」みて第六月十七日の新聞紙ふ載せたり是を僅み三週の間ふ一テ日本^ノの新聞英國ふ達セリ

フランス國

博覧會ハ當時盛小群集雜沓モ「トルコ王」、「エジプト王」も來り衆人小多分の褒賞を與へたり○「ロシア」帝を打たんとせ「ホーデンド」人ハ同類かき事を白狀も此事偽かと爲ア

ロシア國

「アルケニシル」北方の海の名ふ於て去冬寒氣烈一海水凍リ三十餘艘の船艦^{多くハ英船}歸る船多し多人数凍死一且多くの船を破壊す故ハ「イギリス」の船艦總督既ニ二艘の大船を送り生き残き者扶け歸り人とき○「ロシア」の軍兵「ボクハラ」トルキスタンの都名ふて勝利を得たり

イスパニア國

此國甚だ平穏ある兵士屢々揆を起一又女王數多の飾物宝石等の類を賣る何如か之意あるや側り知る事す「ロンドン」ふ於て多分ふ賣りたり一内ふ金剛石を以て飾り

たゞ一の袖時計あり其價十萬兩ありと

トルコ國

國王自國を立す前より以前注文セ一銃砲の外ハ以後一挺も輸入を許さずと命ぜり

モーリシュス島

アフリカのマダガスカル島の傍に在り

此イギリスの属島ふ疫病流行にて數千人死せりと云ふ

アビツニア國

此國の帝久々英人と禁獄一免一歸をす因て「イギリス」
「アフリカ」の東部ふれて紅海小近き國ふり「ヨウロッパ」人の為
の為小ハ甚堪へゆす然もとも印度土人ふへ堪へざら事あ
了可ふやう故ふり此禁獄人を平穩小取り戻せん為小種々の
手段を盡くせり此禁獄せり者ハ他の罪あるふ非も其所以
ハ此國帝より「イギリス」女王へ送る書翰の返答意ヨーロ
も後も後もたゞ故あり因て黒奴とも大ふ怒り「イギリス、コン
スル」及び數人を捕へたゞあり此國「イギリス」より隔離す
といへども軍兵を指し向ふ難ヨーロ

アメリカ國

前年横濱ふ在住せり「アメリカ」人の日本政府より欺き
取せし金の贖アガチとて鐵製の軍艦「ストーン、ウォール」名を日本
ふ送り事を決定せり○「ドニテルベルグ」と云へる鐵製の軍艦
を「フランス」ふ賣き○「アメリカ」飛脚船「コロラド」太平洋
中ふ於て新たに島を見せり此島日本とサンフラシスコ
の中間ふ在りて石炭を取ふ甚た的當を以て「アメリカ」
人此島を我の屬領とせんとす

メキシコ國

當時「メキシコ」の棟梁ふ「ジョーレズ」と云へる者前の國帝
メクシミリーン人を殺害せし事件「ヨウロッパ」及び「アメリカ」ふ

於て大ふ風評せり此「ジョーレス」ある人帝を「キライタロ」と云
へる地ふ於て六十日余取り圍ムラヒタリたり其中ふ帝の寵臣「ジェネ
ラル、ロペズ」名変心ハシメルて敵ふ通スル帝及び其土地を四萬両小
賣スル事小約シテ帝を捕ハサウエスて敵ふ興スル然ハシメル吟味決
して帝並ハシメル外「ジェネラル」官數人を打殺ハサウエス是を西洋第六
月十九日日本五月十八日帝不幸ハシメル卑賤ハシメル士卒の如
き死スル遂ハシメルけたり帝死スル臨ムラヒタリて可憐ハシメルハカルロット名
と云ハシメル「カルロット」ハ帝妃の名ハシメル妃、帝の連強ハシメル
さハシメルと案ハシメルの餘ハシメル遂ハシメル發狂ハシメル今「マウロッパ」在り
帝の崩ハシメル報告の「ヨウロッパ」達せスル時ハシメルオーストリア、
「フランス」ブルニア「ロシア」イギリスの政府小て喪ハシメル服ハシメル
と云ハシメル「メクシミリーン」ハオーストリア帝の兄弟あり「オー
ストリア」人民大ハシメル敬愛ハシメルを以て其死スル聞ムラヒタリ甚ハシメル悲歎ハシメル
元來「メキシコ」ハ諸國ハシメル多く怨ハシメルを取りし國ハシメル今又「ヨウロッパ」諸國
王ハシメルふ友ハシメル所ハシメル帝ハシメル殺害ハサウエスハ愚ハシメルの至ハシメルと云ハシメル然ハシメルと
「ジョーレズ」の為ハシメル故ハシメル非ハシメル一二年前「フランス」兵
卒の帝ハシメル守衛ハサウエス時ハシメル帝位永々連續ハシメル見ハシメル故ハシメル
「フランス」人の勧めハシメル因ハシメル帝ハシメル敵對ハサウエス心ハシメル抱く者ハ盡ハシメル
殺罰ハサウエス事ハシメル定ハシメル許多の人ハシメル殺ハサウエス故ハシメル「ジョーレス」若
一我捕ハサウエスふ逢ハシメル必定殺ハサウエス今我、帝ハシメル捕ハサウエスハ我帝
の所ハシメル行ハシメルふハシメルとハシメル殺害ハサウエス自然と云ハシメル此國三
四十年以來國王變換ハシメルとハシメル每歲の如ハシメル故ハシメル遠ハシメル
て又变ハシメルとハシメル疑ハシメル帝ハシメル殺害ハサウエス「ヨウロッパ」の諸國と
敵縁ハシメル結ハシメルのハシメルあハシメル又合衆國の船ハシメル捕ハサウエス時ハシメル本國
サシタ、アンナ人名、以前ハキシコの棟梁あるを捕ハサウエス打殺ハサウエス西洋諸國小於
て縱ハシメル其人ハ敵ハシメルありとも其本國の船ハシメル捕ハサウエス時ハシメル本國
向ハシメル戰爭ハサウエス齊ハシメルき故ハシメル合衆國ハシメル直ハシメル詰問ハシメル或
八戰爭ハシメル及ハシメル合衆國中ハシメルメキシコハシメルを合衆國ハシメル合衆國ハシメル

事々を欲す者多一然る時ハ此國の為ニハ幸ふも無

インンド國

此國の西北酷暑今熱極めて堪へ難く「イギリス」人數多
アボブレクシ一病にて死せり中夜といへとも「フアーレンハイト」
の寒暖計百五度まで登りと云ふ。

支那國

「イギリス、ミニストル、アルコック」此國と改めて新條約を
結ぶふ因て今まで開き置け、諸港を巡見吟味し居れる
「○飢饉旱魃甚一因テ外國より百五十萬両の金を
借り貧民を救ひたりと云ふ此の如く旱魃長く續く時ハ
都府を廣東邊へ遷すの策あり也」

日本國

政府小て明年より外國人の江戸の地方へ尋ね行きたる
小都合宜一かゝる為小當時大を旅舎を造營する實ふ
余等の喜悦堪へやう所あり尚後未此の如き盛事を
希ふあり

横濱の小盗人多き堪へ日本政府小於てハ是を嚴
重小制一居立小れとも尚多き小困却かまかり然き
とも外國人リ亦然り我「イギリス」の軍卒程ヶ谷小於て
往來の人を掠奪ウイハキ一四百五十貫の錢を竊ハナク今此の
兵卒を支那の香港へ送り彼地ハ於て二年の間入牢を
命一置けり

日本北海を開港せんとて行き立ハミニストルハ横濱
み歸り来立ハ

英國高貴の士官三人當時横濱小居立ハ即陸軍總督
「ガイ」人海軍總督「サルハル」レ、大評議役「サル
エドモンド、ホルニベ」等あり英國軍艦「イカルス」の水夫二
人長崎小於て日本人の為小殺害せられたり善惡實否

詳ふらうゞる故ふ「ニーストル」此事ふ就て明白ふ問ひ糺そ
くとキテ

高名ある「イギリス」飛脚船「シンガポール」の破船ハ實ふ日
本在滔の外國人ハ悲歎ふ堪ヘモ此船西洋第八月十八日
（七月）^{廿四日} 横濱を少帆一箱館ふ向ふ途中同二十日（同月二十一日）の晝
九時頃暗礁ふ突當りテ破裂せり此暗礁ハ箱館より
隅たら事六里ふ一ノテ南部の海岸より二里斗ふあり外
國人是モテ知り及ハモ然モ日本人人嘗て是を知リ
キク口「岩」と名つて此船ハ五萬ドル餘の金並ニ二十五人
の旅人外ふ數多の船頭乗組居モ暗礁ふ當てより
六「三ニユート」の間、船主等小船にて逃るの支度を為セ
リ此船蒸氣の強き走ると疾き故ふ暗礁の尖頭
ふ突き當と烈一々直ハ破裂、水衝き入りテ火を消
せしむ因テ罟械を傷き止めたり二十二ニユートの内
旅人并水夫盡く小船ふ棄り移り而一ノテ本船ハ一時
ノテ百丈の海底ふ沈没せり此破船の罪ハ歸モ所
シニガホールの船主等ハ心切懼^{チヂロ}ム其損亡甚た大ふあり
モ故ふ此船ふ棄りて海旅を為モ時ハ更ニ我^ヲ趣く所
の國ふ達モの運きを覺^ムモ恰^モ漫遊ふ出一^タ如^シ舟
旅人并水夫等の乗リシ小船ハ無難ふ南部の海岸
到着せり而一ノテ難船サ事の箱館ふ達セ一時アルニア
軍艦「ヴィ子タ」^名の心切から船將聞^ムや否ヤ直^モ少帆
テ破船人を箱館ふ載せ送^ムア^リ衆人大ふ其懼情を稱
セシム^クシニガホールの船役人等我^ヲ物を惜^ムモ已
セシム^ク難義を省^ムモ旅人の道具を惜^ムモ以て旅人ハ多
分の損亡せざれども船役人等ハ着サ衣服の儘^{アリヨウ}ロ^ツハ人心此の如^ク互^モ切かるハ更^モ奇^ムク^ルモ之を

記すハ實ふ快き事ふゞや然も日本にて此難船人の世話の心切懇情ハ更ふ遙ふ一謝す能むべ我等日本と交易せりより以東此の如き事ありと聞うぞ破船中の旅人並、船頭蟹種を買へんと欲せしもの金子と荷物リ失へ故横濱ふ歸らん事を望むふ因て英國「コンスル」日本の蒸氣船「タイパンギヨー」を頼み此破船人を横濱ふ送りんとも然きども此入費一萬二千兩「コシスル」拂へんと欲まろざりハ多一然るふ日本箱館御奉行の寛大ふゝ处置を以て些少の金をも取らずして此旅人を横濱ふ送り玉ハ至り、實小言ひ盡くまづ厚いの厚恩報謝せり。又のかる「金」日本船の士官の取り扱ひの實ふ丁寧深切ふと喜びるものふ。到着の後旅人ハ報謝の寸志を表せん為、「タイパンギヨー」の士官を招き饗應せり互に喜脱せりといふ此ニ日本蒸氣船中一事あり是を懇情小因て譏へハ非をとし亦告げんハ行。又、是を旅人中「シンガボール」の「インジニール」あり申と上く事。うち蒸氣の諸事まで能く熟練せり船中蒸氣器械等の清淨からハ驚き感せり。只騒ぐ鳴る音。此の如き事ハ西洋の熟練せり者あり時、絶てか一慣き耳を以て之を聞く時ハ器械の運動自由あくをれがあり爰ふ船中ふ「サリノミトル」水中の塩の溶濃を計る道具ふ。蒸氣釜中の塩水濃薄を知り、因て「シンガボール」の「インジニール」此器と造りて日本「インジニール」ふ。典「釜中を計り」、塩濃厚ふ。殆ど危きふ到きり日本政府ふ許多の蒸氣船等ありといふとも海行せんと欲す時外國船を雀ふと思ふ時ハ政府モ熟練せり「インジニール」を各船ふ雀ふ事宜一からん是を入費を増むふ似たりといふも船の破損を修復もとのいふて此の價たる也。

恩小報ゆる鼠

獅子野外ふ睡り居より鼠傍ふ在て飛ひ騒き獅子の
睡りと醒す。是ふ戯むる獅子因く爪を以て鼠を覆ふ
鼠逃ふ。能く爪の下へ於て鳴き衰む獅子思て是
を些細の者擢し殺も益あ。捨てふ如くと鼠因て逃
ふ事を得たり。其後獅子獵師の網に入りて脱ふ。能く
を鼠前日の恩を思ひ網を噛み破りて獅子を援す
誘ふ云手を放つを得ず時ハ手を放つ。人を助けに
了。今日の小人ハ是を後走の恩人かんじ
プリンセスビアトレス。

英國のアリキスピアトレスハ女王の末女にて年僅き十歳性質怜
閑として且美あり或の時どうけ、こ元来英國ハジルマテ」とのい婚
姻あり來れバ今よう改て日本ニ取換へあハ宜しくやあらんと

物價相場

ヨウロッパ新聞ト日本共ニ支那の生絲大小相場するが
遂に買直す。安價ふ賣り拂ふ事を希ふといふ前の新
聞みも言ひ。如く昨年日本産の生絲外見ハ羨麗ふ造
り中少ハ悪。昌をへり事宜。今ロンドンふア
ンド、ヨウロッハ産の絲も賣き多。茶の相場下落
アメリカみて仕入もといとも多分ふ賣き。ヨウロッハ
の内みてハ日本産を好まず。横濱の市中ふ當時生絲
餘程といへとも價高けをハ外國人買ひに若一日本產物
でして世界の相場ふ比較。賣る事とあハ外國人を廣
大ふ商業も盛。茶も亦同一去りかう。其内又買人を専
業の人。蟹種紙甚高價といへとも最早今日よりてハ極
上の品ハ少。此の如く都て日本產物格外ふ高直ふ

にて商業遂に衰微至り我々まで大に痛心を生絲
茶餘り高價をもと外國持來の品物自ト賣をもと
ガ子キン木綿ハ過日不同。木綿絲ハ少々高ト是
色ハ品物拂底ふ付てあり。黒「ビロウド」多分ふ賣をも
ち。呉呂サ直段登より。唐ザン買もと。未
3もの多一。玄米大ふサ一買人ニドル三トといふ元直
段ハ一ドル七分五リシといふ。砂糖ハ多分ふ賣をもとあり

海上にて両船突當る時の法

此頃或る日本士官ありて此両船の突當る事を防ぐ
法を就て問い合わせ。因て是を次の新聞紙上に載す。

又両船已ふ突き當り後の術を示す。

余が此新聞紙方今みてハ日本諸方ふ遍。此書を讀
む者も此事を聞バ定て喜ぶ。豈板の日限遲
緩不同ある故其度毎ふ諸人の催促を受ふ。我
等ハ一月ふ兩度も豈板を願ふ。且此後ハ書物の仕
立方小づりふかずして或ハ西洋紙とも用ひ。江戸
本屋の引き受け取り度き者ハ百一番。或ハ五十
番ハルトリ。宅まで手紙をちもん。且又江戸の板木師爰ふ未
だ、刺斜多分を典ふ。其外横濱中にも種々の仕事
あり。又翻譯ふ熟せし人あらず。其勞ふ報ゆるの金
を贈り且讀書をも教ゆ。

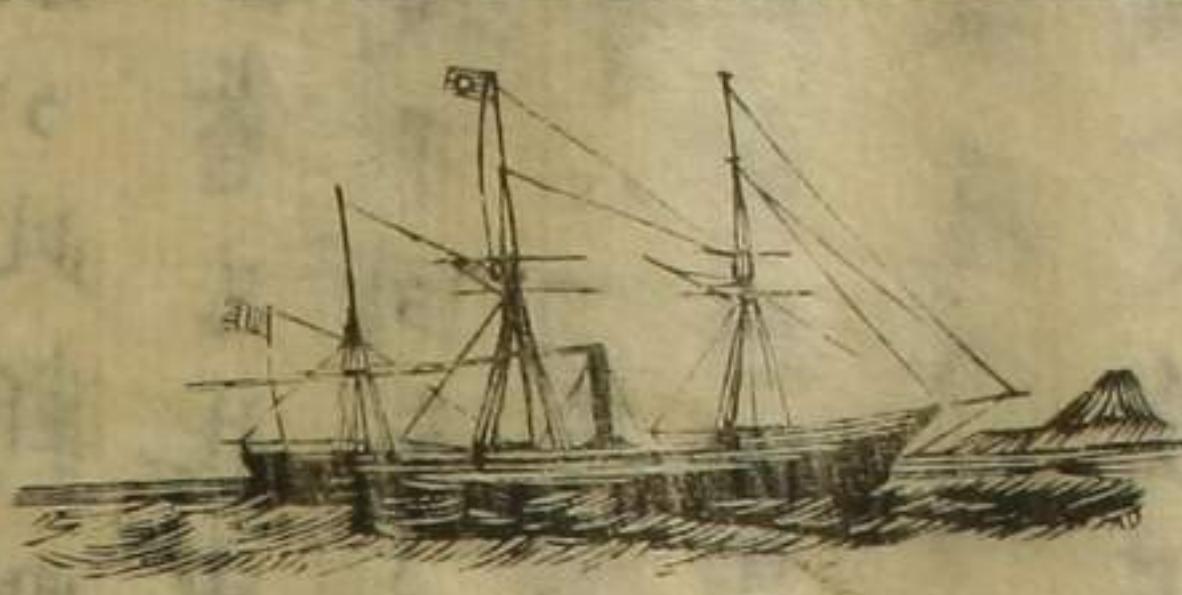
私店系羅紗外國人衣類沓皮類ライフル砲及ヒストル
キリム商賣仕手の時入用には方様には末駕を願ひ若又
持合キシテ第ハ早速本國ヨリ取寄指上ヨリトモ注文を頼ム

横濱本町通

七十七番

マークス

按宅亦諸西洋薬品吟味精製賣申レ間停入用之時
方三ハ月光未アセ下レ以上 横濱百八番 ヴェツタル

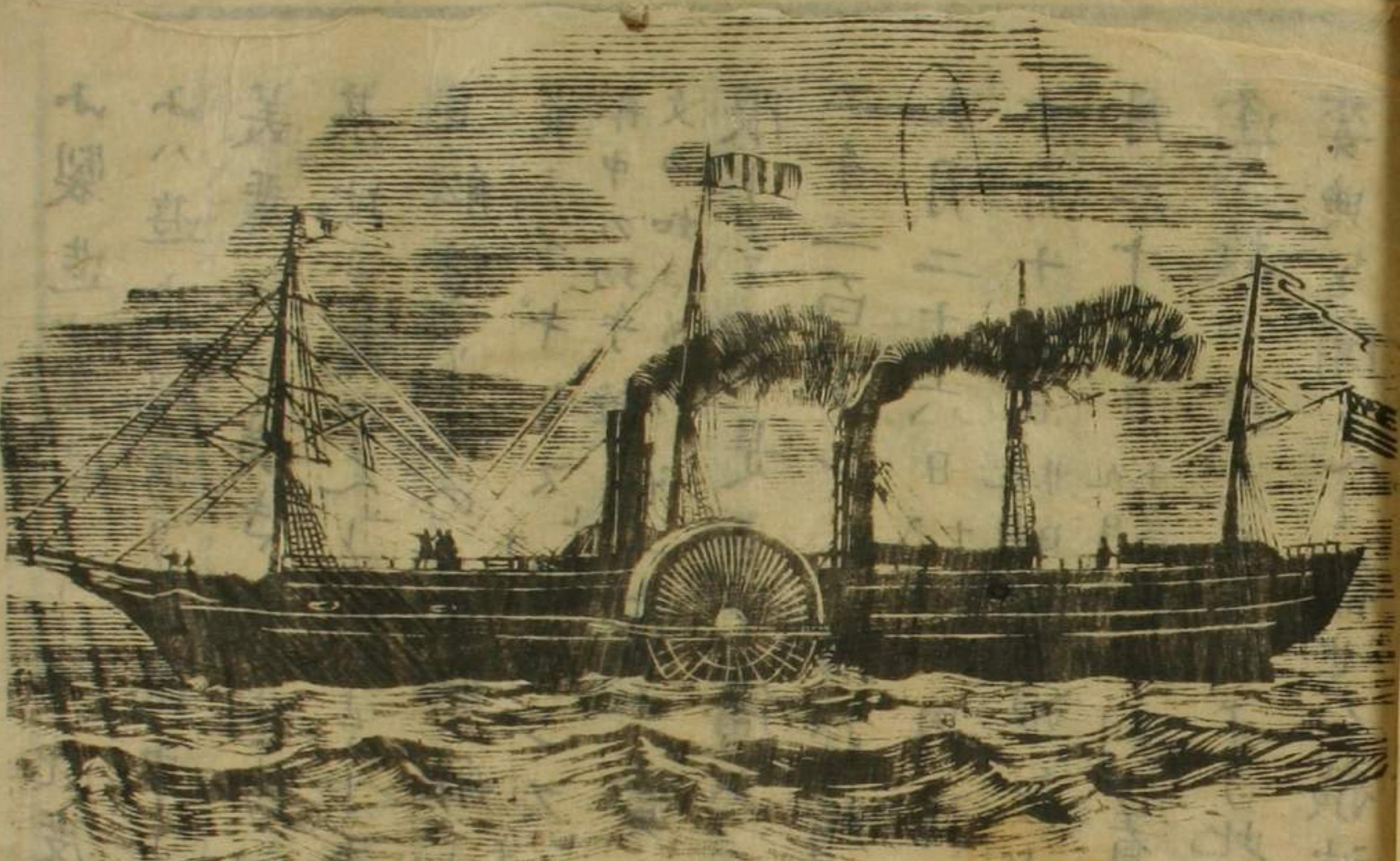


佛蘭西の火輪船毎月六日七日頃本國ヨリユヂ
「ブト」、「インド」支那を過て横濱に到着仕レ此船
横濱ふ三日碇泊の後十日十一日頃小支那「インド」
ヨウロッパふ趣く旅人又ハ書状荷物を積ミ込ミサ
帆仕レ若一書状金銀荷物ホ運送の停用且又
自身航海成度ヨリ十番近停出ウセ下レ

横濱十番

メサジエリ、エビリアル仲間出店

ワッスル



グレートトレーブリック」と名づ
新規ふ造りたる美羅ム飛脚
船サンフランシスコドリ 西洋第
九月二十五日八日九月廿又横濱ふ
久の日直ふ香港小到九月廿二日
第十月二十二日九月廿七日又横濱ふ
未り次日頃「アメリカ」羌ニヨウ
ロッパ諸國ふ趣く所の旅人を
載セテカリヲルニア」小到九月廿二日
此大あリ火輪船ハ長三十八丈幅五丈四千二百「トン」を積ム
海大洋を過る船みて此より
社羅ムアムアム此の如く大か
亦稀ム且此飛脚船ハ此度新

小製造せる者少一にて此度始めて航海するものより船中
ふハ遊歩場ありて兩中といくとも徒然と慰むふ足り且
羨麗かる廣き室あり日本人の「アメリカ」ヨウロッハの
某地ふ趣うんと欲する者小ハ實小程宜き船といふ事
且船貨り他の飛脚船よりハ最も廉かり南北「アメリカ」
英ニイギリス
船中の切手證文の如きも「フランス」ジエルマニー等迄到る「ティケット」
一度小賣ふかり必用の諸品ハ上中下等ニ
限リキモ皆是きを備ふ

二千二百「トン」と積む所の火輪船「コスタリカ」西洋第
九月二十六日八月二十九日内海通りより長崎上海小趣く
十月十七日廿四日上海と出帆して長崎ハ十八日横濱ハ十
月二十二日廿三日小到着キ「グレートトレーリック」と此小号
逢ふ故小旅人長崎より此船ふ乗リ来り西洋ふ趣く
委典を聞えと欲せハ横濱四番「フルブス」宅へ来ラ
了

私共以前和蘭海軍外因より處二々年前より横濱に至り
内外科ノド冥業仕此度各國一般に病院立谷因貴
モ差別療治仕此病院地場家化却合立甚以病人宣教
ノ彦若又療治料藥料ノリ月奉細シナ合之於皮肉病
丸又ち百五十番迄リか至る

横濱

ヨンゲ
メーク

私店外圍商買呂物余多立産不景又折了追賣す仕事は先末甚
横濱十二番

ボーグ

外人接済後後波レの此後日増繁昌う仕事月日をアメリカ安
ヨコハマ之節業のを経テハタゞミ利潤う多く若又お代の維
宣野豪物を案内し私窓主ふあつて旅事細シナ合之於皮肉病
丸又ち百五十番迄リか至る

横濱

百一告ベーリー

此度私店より外の某種療病療毒の妙業ナルサ。ハラ根の
「エキストラクト」亦湿瘡の奇業深き製造及写玉術医術
甚確山創等之器械より英佛和蘭支那ニ書物又法地圖
等第術側量航海字引何と教説之本多何事見る所也。

横濱

五十一番 ハルトリード

器械製造一切鐵鋼工社ノ又生漆漆器も器械被軍艦
商船等大から小の器械も當國へ出づるを重んじ政府の器械
製造改進ヨリエド「アトマ」を主導とすと清方官吏が廣く傳ひる
シカニヤ。又傳 機械も其を追立指上手をもはは度又を承れ

横濱

六十九番 ラウサットフイード

私店名外玉く衣振書萬年紙墨
の表を下る。此の何事は高
賣能る何事も未だ有り

横濱百八告

ヒールリン

横濱九十三番 ウエンリート

「コメイカ」学問修業更易考又見
遊歷廢海義度との如きは
連活うやし

中川屋某

此人今般江戸高輪英吉利館波戸場側小役店を開き肉類を
賣せり就中牛内、健康体小官一キの、いかゞ、別一にて
虚弱及び病身の人又ハ病後ハ之を食むと氣りと増一
身体と壯健小す日又肉の素性と撰成した丈サド直小賣拂
ハシ、四方の君子多分ハ買ひ求む。と云望む又牛肉の全
体を圖上顯シ其解と添て其名所を知り乞何事の部を
ロースト、ホイル、ステイク用ゆ。且キヤと詳く説明かせり

牛内部分の善悪小由て五等小分つ

第一等 一二九

四七十

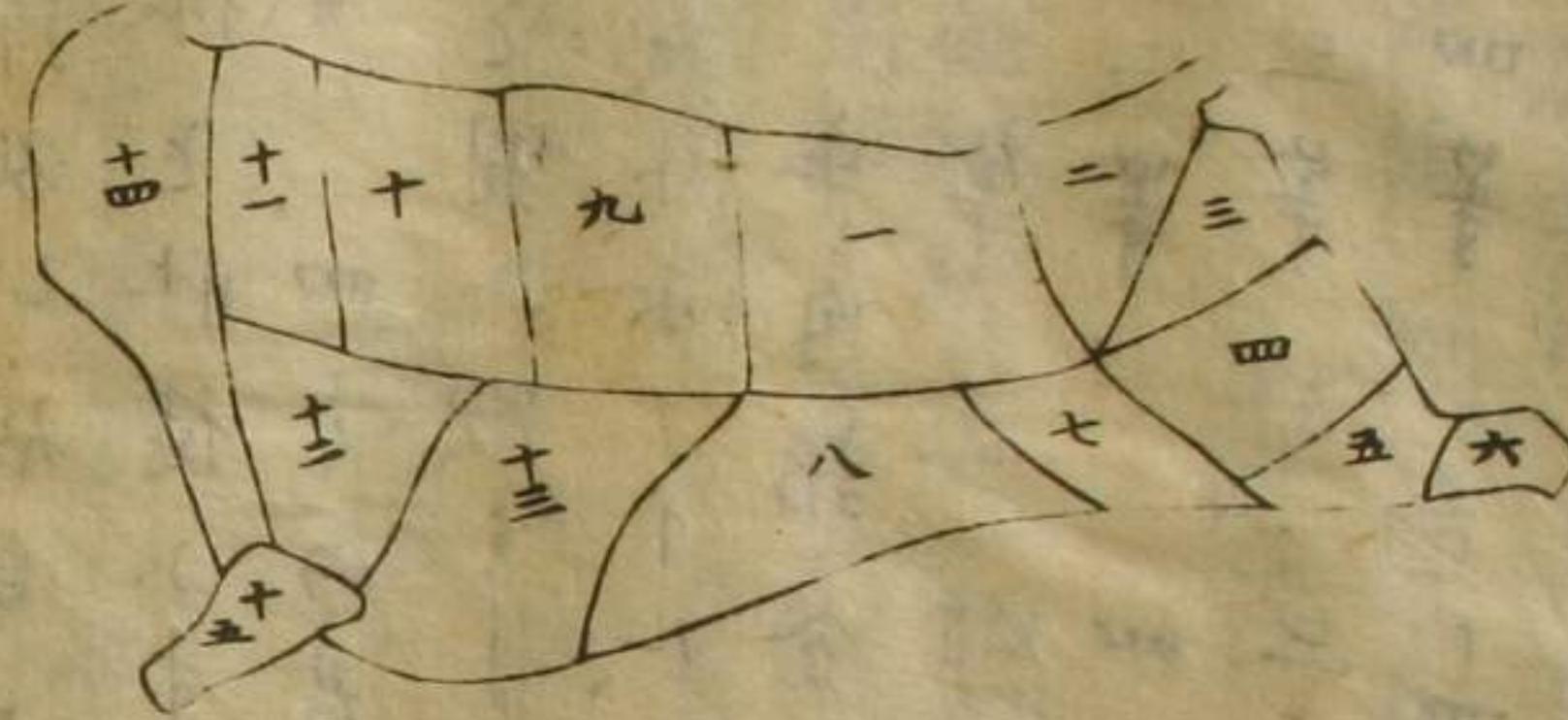
第二等 三五八土十二十三

十四

第三等 第四等 第五等

六十五

牛内部分の圖及び解



一一

腰の部

ローハト

尾先の部

スティキ

尾下の部

ボアイル

尻下の部

ボアイル

尻

ボアイル

腰の部

スティウ

尾下の部

ボアイル

腰の部

ボアイル

厚き股腹

ボアイル

薄き股腹

ボアイル

前の肋骨五枚

ボアイル

中の肋骨四枚

ボアイル

肩側の肋骨二枚

ボアイル

ロースト

ボアイル

肩下の部

ボアイル

胸

ボアイル

中川屋岑店

ボアイル

諸御大名衆様方其外並氣船を買入成度尙方一枚を私方と申用法作付度を承り又右船係りに一切之事古取扱はず合ひ成度矣て臣が委納こマ申上候何卒内注文し程伏々奉希上及

ペニンスラルエンドヨリーナタルステイーム子ウイグーシュン社中出張

横濱海岸十五番

ダウイソン

私店三七日目ニ一度ツ外国品物追賣仕六万此取扱落仕六以上

横濱本町通五十七番

私方ニ英吉利産ノ牡豚二疋ト唐突写若此種ヲ取度ほ思召く
寺方支牝豕タヌク持至るに成比承情人に披ふ洛申及以上
横濱海岸通五番

スマッシュ

高名ナル「ニル子ル」人ミ鉄張箱古塗レ盜賊走失火之節極大夫三
旦大小色々ナ好次才ミト写生求成下度及

横濱二番

ウォルレホール

夏物又まへ黒四羅沙衣服類一組末揃へ白襯衣フランマル襯衣下股引
襟兜拭手袋足袋沓長沓雨衣杖鞭馬具ミ類到着仕トハカル程
偏亨氣レ尚又高往文ニ成トテ急船ニテ取寄差上マ申皮且衣服仕立
仕伎乃而用レ作体可レ下外以上

横濱本町通五十一番

アーモンド ウィルマン

私係此度太田町八丁目百七十九番、轉宅仕入
私店テ金銀時斗 螺旋銃短銃火薬玉電氣箱度量器械樂器
商賣仕入官市買求之程奉希上改其外種々武器市文ル了未至
取寄差上マ申付且亦時斗飾玉直仕入間未駕奉願上改
付

橫窓

ハシビスケット ボトル 右呂物私店ニ
在テ度多歩く事無し
成下度奉願
横濱元町一丁目
中川屋嘉兵衛

水經元曲二

一 黒羅紗上着
一 同袖無レ

同股引

一白麻股引

一白袖無之
金縵之義也
好汝弟

横濱本町通五十三番

大小長短種々 エンフィールド

橫濱三番

A black and white illustration of a dark horse standing on a rocky ledge, looking down.

「ラビヤ」馬「フレディー」申カ。ブティンアッブレンニ無馬。大坂にあり侍大名裏には望む成ケ馬と云ひ此度賣拂ひゆるは買へ。程ま新也 横濱丘齋
ス・メツ・ズ



此鉗鍋カツボウを兼カムて博覽會ハクランイと相合ハマリりて甚以ハシタて稱羨ハラハラ致ハセマツ。イギリス「フランス」並ニ諸國ハザシテ金銀座カイキンザにて數年來相用ハサシテ其品ハシタハ皆並ハシタ品ハシタハ餘程久ハシタ烈火ハシタ上ニ置ハシタけても破れ不申ハシタ金銀銅カイキンブウホ鎔ハシタ四十度五十度殊ハシタ一テント寄ハシタれハ百度位ハシタ相用ハサシテ申ハシタ又火ハシタ下ハシタ一次第ハシタ水ハシタ入れフルユムベハシターハシタも破れ不申ハシタ鋼鐵カイケンを鎔ハシタ外ハシタ通例ハシタ品ハシタハ炭ハシタ費コグルシフハシタ且ハシタ省ハシタ千斤ハシタ鋼鐵カイケンを鎔ハシタ千五百斤ハシタ炭ハシタ且ハシタコムパニハシタ速ハシタ鎔申ハシタ幾度ハシタ用ハシタ故鎔ハシタ鉗鍋カツボウ餘ハシタ付ハシタ費ロンドンハシタ少ハシタ費を省ハシタ所ハシタ炭ハシタ餘ハシタ計ハシタ右斗ハシタパッタルシハシタ此鉗鍋カツボウ價ハシタ餘計ハシタ十五匁入ハシタ位ハシタ以上何斤入ハシタとも製造仕ハシタ何斤入ハシタ申分量ハ壺ハシタ相記ハシタ有ハシタ假令ハ百と相記ハシタハ百キログラムハシタ事ハシタ日本ハシタ百六十五斤ハシタ坐ハシタ此印ハシタ年前製造ハシタ印ハシタ坐ハシタ左様ハシタ兼ハシタ可ハシタ下ハシタ横濱ハシタボイレハシタ長崎ハシタニコルリシアンドボイルハシタ



英國教師ベーリー先生日本貴公子の薬學小志ある者小教授せんと欲す先生子弟比教育ハシタ熟慣ハシタ先生英國「カナダリッシュハシタ」名ハシタの大学校少ハシタ修業ハシタ此の大学校小て学藝上達ハシタ為ハシタ小多くは庶民賞ハシタ得ハシタ故小十分の教授ハシタ与ハシタ少ハシタ得ハシタ若一已むこと得ハシタ英國小趣ハシタと欲すを亦為ハシタ周旋ハシタ教授料ハシタ多ハシタ小受ハシタけ又被ハシタ西洋書籍ハシタ持ハシタ者ハシタ別ハシタ料ハシタ受ハシタ借ハシタ教ハシタ。

茂

横濱本町通五十一番

江戸芝神明前

ハルトリ一

岡田屋嘉七

同太田町三丁目

同日本橋室町一丁目

大黒屋茂兵衛

丸屋漁三郎

同駒形町

京都四条通御幸町角

伊勢屋勝郎

菜山堂三郎助

同弁天通五丁目

箱館

師岡屋伊兵衛

デユース

肆

書

行

